

事業所名

奈良県障害者総合支援センター
わかくさ愛育園

支援プログラム（居宅訪問型児童発達支援）

作成日

令和

7年

3月

1日

法人（事業所）理念		【法人】障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なリハビリテーションサービスを通して相互に人格と個性を尊重し支え合う「ともに生きる」社会の実現に貢献します。						
支援方針		子ども一人ひとりの個性やニーズを的確に把握し、可能性を引き出す療育を目指します。						
営業時間		9 時	分から	17 時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	こどもの心身の状態把握に努め、生活リズムを整え、こどもの状態像に応じて健康的に日中活動を行なうことができるよう支援します。						
	運動・感覚	視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭覚、固有覚等の感覚を活用できる遊びを行ない、遊びの中で体を動かす機会を設け、日常生活を送る上で必要となる姿勢保持や移動、運動動作等の身体機能の向上を目指します。						
	認知・行動	玩具や教具を使用した遊びや好きなこと、興味を活かした活動を通して、見る、聞く、触るという行動を促します。 物との関わりを豊かにすることで、物事への注目、理解につなげていきます。						
	言語 コミュニケーション	人と関わり合う経験を通して、こどもの伝えたいという気持ちを育みながら、こどもが安心して他者と関われるよう、個々の状態に合わせたコミュニケーション手段を用いて、丁寧なやりとりを行ないます。						
	人間関係 社会性	安心できる環境の中で家族以外の人との関わりを積み重ね、愛着の形成や信頼関係の育成につなげていきます。また、遊びを通して人との関わりを経験し、社会性を高めていきます。						
家族支援		子育てに関する困りごとに対する相談援助や子育てや障害等に関する情報提供を行ないます。				移行支援	こどもにとって最善の選択ができるよう、研修会、個別懇談等を実施し、また、関係機関と連携を図り支援します。	
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援や、こども地域支援事業を実施し関係機関と連携を図ることで、障害に関する理解を促し、インクルーシブ社会の実現につながるよう支援します。また、支援者向け研修会を実施し、地域支援、地域連携の強化を図ります。				職員の質の向上	施設内研修、外部研修、療育前後のミーティングやケース会議の定期開催を通して療育支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		具体的な行事内容については、対象となるこどもや家族のニーズに応じて計画します。						